

平成30年 10月 22日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 愛知県一宮市時之島字妙光寺6-1

団体名 特定非営利活動法人響愛学園

代表者 職・氏名 理事長 児島真里子

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	NPO法人響愛学園9周年記念コンサート&インクルーシブオーケストラ「シンフォニー」第4回定期演奏会		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ選択し、○で囲んでください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他(まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護)
3 支援金交付申請額	702,880 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	1,492,880 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	1,476,920 円
当該事業によって得られる収入 (c)	790,000 円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	702,880 円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。



一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	特定非営利活動法人響愛学園		
市内事務所の所在地	〒491-0002 一宮市時之島字妙光寺6-1		
代表者 職・氏名	理事長 児島真里子		
設 立 年 月	平成22年 10月	構成員の人数	40人
U R L	http://www.kyoai-gakuen.com/		
連 絡 先	(担当者氏名) 多島 千晴		
※この申請に関する 問合せに対応でき る方	電 話	0586-85-5154	F A X 0586-85-5164
	E-mail	ichinomiya@kyoai-gakuen.com	
団 体 の 目 的	「障害の有無に関わらず、全ての子ども達が光り輝くお手伝いをしたい」という思いで、障害を持った子供たちに音楽とアートを通じた芸術的アプローチで教育する事業所の運営をしている。成果発表の場として コンサート事業やインクルーシブ事業、アート展覧会の開催を通して、子どもたちの成長につなげている。		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術、文化活動を主軸のコンサート事業 ・ 講演会、研修会事業 ・ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 ・ 障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業 		
主 な 活 動 の 実 績	<p>平成27年6月 インクルーシブオーケストラシンフォニー結成</p> <p>平成29年6月 マーシーサービス可児5周年コンサート開催 一宮教室音楽発表会 開催</p> <p>平成29年9月 響愛学園7周年記念コンサート&インクルーシブオーケストラシンフォニー第2回定期演奏会を一宮市尾西市民会館で開催</p> <p>平成30年7月 マーシーサービス可児6周年コンサート開催 8月 一宮教室音楽発表会 開催 響愛学園8周年記念コンサート&インクルーシブオーケストラシンフォニー第3回定期演奏会を一宮市尾西市民会館で開催</p>		
今 年 度 予 算 額	211,173,000 円	昨 年 度 決 算 額	18,943,461 円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有(補助金等の名称:) ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人響愛学園</p>
<p>事業の名称</p>	<p>NPO 法人響愛学園 9 周年コンサート&インクルーシブオーケストラ 「シンフォニー」第 4 回定期演奏会</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 (準備期間や後処理期間も含めてください) 平成 31 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 10 月 1 日</p> <p>(2) 実施場所 一宮市民会館</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市内及び近郊市町民</p> <p>(4) 実施体制 スタッフ 30 名、ボランティアスタッフ 10 名で当日の運営を行い、シンフォニーのメンバー 20 名に加え、障がいのある演奏者 30 名、外部からオーケストラメンバー、一宮市内で活動しているグループ、一宮市内の中学校合唱部 5 団体に参加してもらう。</p> <p>(5) 具体的な内容 障がいをもった子ども達と健常者の子ども達、また地域の方がお互いを知り、互いの才能を刺激しあいながら、一つの音楽を共に作りあげていきたいと考えています。今年で結成 4 年を迎え、その成果発表の場として、第 4 回演奏会を行います。 前回同様、桜花学園高等学校の管弦楽部の生徒の方たちに参加していただき、インクルーシブオーケストラ「シンフォニー」の演奏を披露します。 新しい試みとして、一宮市内の中学校合唱部 5 団体、一宮市内で活動しているフォークダンスグループと障がいのある演奏者を募集し、コラボレーション企画も予定しています。</p>

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。

備考 2 ページ数は 2 ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>お客様からのアンケート集約と、スタッフ・出演者間で共有した反省会を行っている。</p> <p>反省会の意見を集約し、今後の演奏会の回数やメンバーを増やす等、より良い演奏会の実現と、インクルーシブオーケストラの活動を多くの方々に届けていきたいと考えています。</p>	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>障がいの有無に関わらず全ての子ども達に対して一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う「インクルーシブ教育」の実現には、音楽活動が最適であると考え、このオーケストラを結成しました。</p> <p>これからの地域社会を豊かにするためには地域に住んでいる子どもたちがお互いを知り、認め、そして足りない部分を助け合うことを知る必要があります。</p> <p>私たちは演奏会を通じてこの「シンフォニー」の存在が障がいのある子どもたちにとって、芸術的感性を伸び伸びと表現できる場であり、健常者の子どもたちと芸術を通して交流が出来る場所でもあることを強く感じました。</p> <p>今後も「インクルーシブ教育」の認知度を向上させるためにも、定期的にシンフォニーの活動を実施し活動範囲を広め、『障がい』と『社会』を結んでいきたいと考えています。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>地域の方々やより多くの方々に認知を広げるため、定員数の大きな会場で開催することが必要と考えるが、会場費も安価ではなくその全てを受益者負担すると入場料が高くなってしまいます。特に子どもや老人は足を運びにくくなり、多くの方々にこの演奏会を認知していただくことが困難となります。多くの方々に演奏会を聴いていただくことで障がいの理解へと繋げることが出来るため、公益性の高い事業だと思えます。そのため公金で実施することが相応しいと考えます。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>平成31年 4月～</p> <p>9月1日</p>	<p>内 容</p> <p>演奏会で行う曲の練習 毎週土曜、合同練習</p> <p>第4回定期演奏会開催</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 特定非営利活動法人響愛学園

事業の名称 NPO 法人響愛学園 9周年コンサート&インクルーシブオーケストラ「シンフォニー」第4回定期演奏会

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	702,880	
事業収入	790,000	チケット収入 大人 1000円×300人 小人 500円×500人 広告掲載料 3000円×80件
自主財源	0	<input type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input checked="" type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ()
計	1,492,880	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	565,000	565,000
旅費	133,000	133,000
印刷製本、消耗品費	150,000	150,000
食糧費	72,620	56,660
通信費、手数料	106,000	106,000
備品費	0	0
人件費	241,260	241,260
使用料、賃借料	225,000	225,000
その他	0	0
計	1,492,880	1,476,920

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	565,000	ピアノ調律代 20,000 円、司会代 150,000 円、演奏者指導 10,000 円×5 名=50,000 円、指揮者代 120,000 円、編曲代 30,000 円、写真撮影代 30,000 円、ステージマネージャー代 30,000 円、出演料 135,000 円(合唱部 5 団体 500 円×100 名=50,000 円、障害のある演奏者 5,000 円×3 名=15,000 円、地域の活動グループ 500 円×20 名=10,000 円、合唱部 5 団体・桜花学園高等学校 10,000 円×6 団体=60,000 円)
	565,000	
旅費	133,000	指揮者宿泊費 8,000 円、交通費 25,000 円 桜花学園高等学校送迎費 100,000 円
	133,000	
印刷製本、 消耗品費	150,000	チラシ 30,000 部印刷 50,000 円 プログラム 1,500 部印刷 80,000 円 消耗品代 20,000 円(コピー代、ペン、テープ)
	150,000	
食糧費	72,620	お弁当@324 円×205 名=66,420 円(@324 円×165 名(演奏指導者、障害のある演奏者、合唱部 5 団体、桜花学園高等学校)=53,460 円)@800 円×4 名(指揮者、司会者、ステージマネージャー、編曲者)=3,200 円 飲み物、お菓子 3,000 円(0 円)
	56,660	
通信費、 手数料	106,000	郵送費@66 円×1,000 円=66,000 円 楽器運搬手数料 40,000 円
	106,000	
備品費※2	0	
	0	
人件費	241,260	スタッフ 6,300 円/日×30 名=189,000 円(7 時間) 5,226 円/日×10 名=52,260 円(6 時間)
	241,260	
使用料、 賃借料	225,000	本番会場費 205,000 円(付帯設備費含む) 著作権料 20,000 円
	225,000	
その他	0	
	0	

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを()書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000 円×5h×2 人=10,000 円 (@900 円×5h×2 人=9,000 円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 (片面印刷) とする。